

電子メールの誤送信対策と管理者の利便性を強化した 「m-FILTER®」 Ver.3.6 を発売開始 ～送信前対策「m-FILTER MailAdviser」、送信後対策「FinalCode Express」 と連携してメール誤送信の多層的防御を実現～

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、電子メールの誤送信対策と管理者の利便性を強化した、企業・官公庁向け電子メールフィルタリングソフト「m-FILTER(エムフィルタ)」Ver.3.6 を 2013年7月29日(月)より発売開始いたします。

今回のアップデートでは、管理者の運用負担を軽減する機能として、これまで作成したグループ単位で所属ユーザー情報をエクスポート/インポートする必要があったものが一括で処理できるようになる他、Web ベースの GUI(グラフィカルユーザーインターフェイス)に加え、コマンドラインインターフェースを実装し、グループ・グループユーザー・グループ管理者・キーワードリスト等がコマンドラインインターフェースで設定可能になります。

また、通常運用面においては、分割したメールに対する ZIP パスワードロックを行う際に、メッセージ ID が同一であれば同一のパスワードを発行するようになるため、メール送信者の負担が軽減されます。

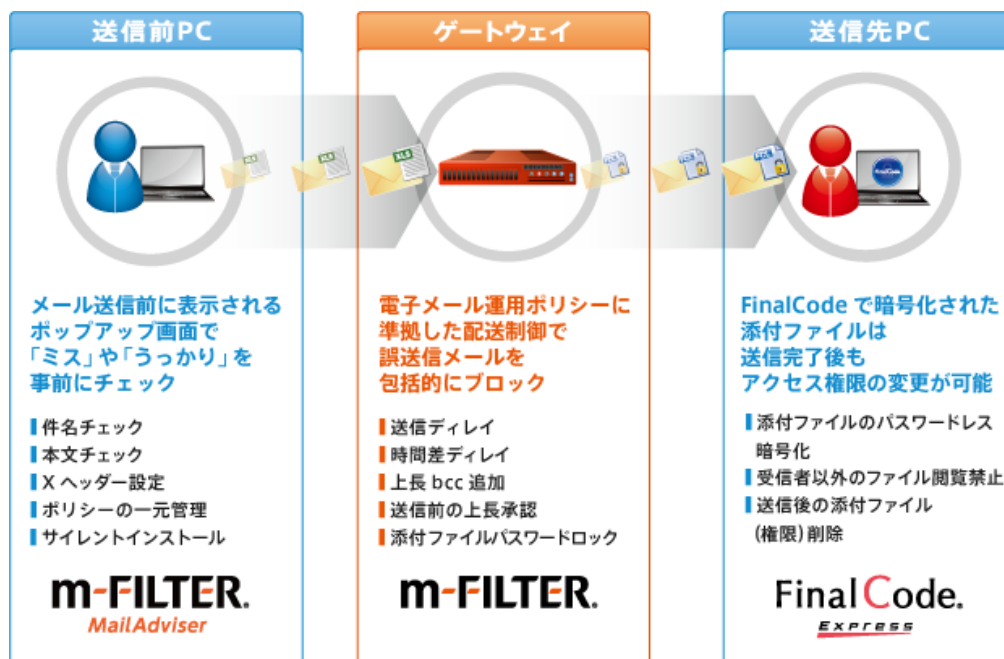
電子メールの誤送信の発生確率は、他のツール・デバイスの紛失・盗難の確率と比較し、約 3.6～7.9 倍※と言われており、人為的な情報漏洩におけるミスの中でも高い数値となっていることから、機密情報を取り扱う企業における情報漏洩対策は必須となりつつあります。

デジタルアーツでは、7 月より、メールの送信前に表示されるポップアップ画面で誤送信を未然にチェックできる「m-FILTER MailAdviser」の販売を新たに開始し、「m-FILTER」を核に、ファイル暗号化ソリューション「FinalCode Express」との連携を強化し、情報漏洩対策市場におけるお客様からのニーズにご対応すべく、「m-FILTER」ファミリーの機能強化をしております。

※「2011 年情報セキュリティインシデントに関する調査報告書」から一部抜粋

■「m-FILTER」ファミリーによる多層的なメール誤送信防止イメージ

電子メールの送信前、配送途中のゲートウェイ、メール受信者の PC 内の添付ファイルと、全てのステップで誤送信対策が可能になります。



■ 「m-FILTER」について <http://www.daj.jp/bs/mf/>

「m-FILTER」は、情報漏洩防止・内部統制・スパムメール対策といった解決したい課題・ご要望に合った機能構成を選択していただける企業・官公庁向けの電子メールフィルタリングソフトです。電子メールの送受信制御を行う「m-FILTER MailFilter」、電子メールの全文保存と検索を可能にする「m-FILTER Archive」、スパムメール対策の「m-FILTER Anti-Spam」の3つの機能を提供する他、メールアーカイブの個人管理機能や、誤送信防止機能を強化しています。

■ デジタルアーツについて <http://www.daj.jp>

デジタルアーツは、フィルタリング技術を核に、情報セキュリティ事業を展開する企業です。製品の企画・開発・販売・サポートまでを一貫して行い、国産初のWebフィルタリングソフトを市場に出したメーカーならではの付加価値を提供しています。また、フィルタリング製品の根幹を支える国内最大級のWebフィルタリングデータベースと、世界27の国と地域で特許を取得した技術力が高く評価されています。国内でトップシェアを誇るWebフィルタリングソフトとして、家庭及び個人向け「i-フィルター」・企業向け「i-FILTER」「i-FILTER ブラウザー」を提供する他、企業向けとして電子メールフィルタリングソフト「m-FILTER」、電子メール誤送信防止ソリューション「m-FILTER MailAdviser」、セキュア・プロキシ・アプライアンス製品「D-SPA」、ファイルセキュリティソリューション「FinalCode」を提供しています。

※ デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER、m-FILTER、D-SPA、FinalCode は、デジタルアーツ株式会社の登録商標です。
※ その他、上に記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
